



救心製薬 企業立地基本計画に基づく立地企業

大正2年創業。伝統生薬を中心とした医薬品の開発・製造販売を行っている。大正14年に誕生した生薬製剤『救心』は、現在までの長きにわたり国内外から高い評価と信頼を得ているロングセラー商品。平成23年11月に山梨工場が完成。山梨工場では『救心』をはじめとする28品目の医薬品を製造している。

山梨の交通ネットワークを 基盤にした事業展開

企業立地環境に 恵まれている山梨

東京・杉並にあった工場は3棟に分かれていたため、人的・設備的にも効率が良くありませんでした。また老朽化も進み耐震強化する必要が生じたこともあり、工場移転の検討を始めました。移転先を韮崎に決めた理由は、中央自動車道の韮崎インターやJR韮崎駅があり、東京との行き来がしやすいこと、中部横断自動車道も間もなく静岡までつながるなど交通面での利便性の高さが大きな要因です。また穂坂地区は地盤が強固だという耐震面での安心感も決め手となりました。

野に入れ、新たに3千坪の土地も購入しました。

当工場は高台にありますので富士山をはじめとする周囲の山々の眺望が素晴らしく、移住してきた社員の中には趣味で登山を始めた者もいるなど自然を満喫しているようです。



救心製薬株式会社 山梨工場
池上 進 工場長



製造された医薬品は、人の手や目により厳しく検品される

アジア各国に輸出されている
生薬製剤『救心』



安心して働ける 労働環境づくり

移転後すでに40人ほどを現地で採用しました。当社は基本的には全員正社員として雇用し、福利厚生充実も図り、安心して働ける労働環境を整えています。また、将来の業務拡大を視



韮崎市上ノ山 3180(上ノ山・穂坂地区工業団地内)
TEL 0551-21-3211

救心

検索

雇用

《地域に根ざした新しい雇用を創生する》

『山梨県まち・ひと・しごと創生総合戦略』

山梨県まち・ひと・しごと創生総合戦略では、県人口ビジョンに描く将来展望を実現するため、5つの基本目標を定め、目標達成に向けて具体的な施策を着実に実施しています。

利便性が高く住みよ

沖センサデバイス 県外からの本社機能移転第1号

沖電気工業(株)の100%子会社、(株)沖センサデバイスとして平成8年に分離独立し現在に至る。自動車や家電、産業機器など幅広い分野で利用されているリードスイッチおよび、その応用商品の開発・設計・製造・販売を行っている。グローバルなビジネス展開により、業界トップのシェアを獲得している。



真新しく広々としたオフィス



リードスイッチは自動車の部品をはじめ、私たちの生活に欠かせない家電製品などに数多く利用されている

地域雇用を重視し 山梨に根付いた企業を目指す

本社と工場を一体化し 事業を強化

今年4月、東京・立川にあった本社を生産工場のある甲府に移転しました。本社と工場が離れていることに効率の悪さを感じるようになり、山梨県産業界労働部のサポートを受けながら移転を決めました。山梨は、東京から近く便利です。リニア開通にも期待しています。本社機能、設計部門、生産部門を集約したことで、部門間の連携も強まりました。また、営業部門の事務所を都心(新宿)に開設したことで、お客様のニーズをいち早く把握できる体制が整いました。今回の移転により、さらなる事業の強化も図りたいと思っています。

地元採用に 力を入れていきたい

これからは「山梨の企業」として早く溶け込み、いずれば地場産業との共同開発なども実現できればと考えています。山梨県への移転に伴い、すでに現地で採用も実施しました。これからも山



株式会社 沖センサデバイス
牛田 祐生 社長

梨大学をはじめ、県内の学校の卒業生やふるさと山梨に戻って働きたい方などを積極的に採用し、山梨に根付いた企業として発展していきたいと思っています。東京から移住した社員たちにとつて、やはり世界遺産富士山が見える山梨の自然は、何物にも代え難いようです。



甲府市大津町1088-7 (甲府南部工業団地内)
TEL 055-208-1770

沖センサ